

「不可説不可説転（大晦日）」と 「2026.1.3 仕事始め」



昨年の暮れ、カバンに納めて持ち歩く「池田晶子著 新・考えるヒント」を完読（一応読み終える？）する。この「新・考えるヒント」をカバンから解放し、コインランドリー夕陽が丘の本棚のすみに 2025 年 12 月 31 日に並べる。「解るようで分らん。」 うーんうーん。ウン子はいつつ出る？こちら総務部の HP にもウン子の嘸はある。ウン子自体に共通点はありませんが、もし興味があればどちらもご覧下さい。

この本にでてくる不可説不可説転とは、解らなかったのでグーグル先生に訊くと、量子コンピューターも計算できない、つまり思想の数だそうだ。AI（人口知能）が仏教徒になる日も近いのかもしれない。0・1・不可説不可説転。インド数学の凄さよ！

2026 年 1 月 3 日、こちら総務部だよりの締め切り期限まであと二日である。事務所の大きなカレンダーの表紙を剥ぐ、裏は「おっ、1 年間の年間カレンダーだ。」 凄いと、頷く。このカレンダーの 1 月 3 日 1 行目はこちら総務部だよりを書く、と書く（ややこしい。）。昨年の課題（やること）リストをみる。諦めるものは潔ぎよく、捨てよう。

「2026 元旦、二つに絞ろう」

やはり、一つ目は**時代がもとめる税理士を目指そう。**

上場企業のコーポレートガバナンス・コードが改訂され、取締役会と代表取締役の役割と企業の経営方針が明示され、世界の投資ファンドに可視化され、投資が実行される。このことは従業員をはじめ、あらゆるステークホルダーが求めているものだと思う。閑家具、資さんうどん、フジテック等々、私達の身近で聴く投資ファンドのニュースだ。この動きは革命的だと思う。護送船団方式の経営が解体される。ガバナンスコードは大企業だけに限られたものでもない。これからの中小企業にも必須のものと思う。自己の「企業の生きざま、在り方」を可視化、示せないで企業の存続は無いと思う。中小企業版「ファミリービジネスコード（親族承継）」を経済産業省が提示している。是非、読んでほしい。

晶子さんの定義する「言葉」にできるか？が問われる。少なくとも中小企業家同友会が「経営指針書」と呼ぶものを「言葉（言霊）の書、心に響くもの」にしよう。時代は大きく変わる。だから制度も変わる。法律も。その中の税法も！「税法をかみ砕く税理士と成ろう。」

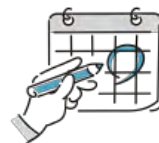
二つ目は、**生まれ育った土を「ともに耕そう」。**

農地適格化法人を出来るだけ早くスタートし、真の農福連携を現実化しよう。この行の空白を「言葉」で埋めよう。

さて、一年間カレンダーに書き込もう。

そうだな、仕方がないか。

三つ目も加えよう **なき友との志もはたしていこう。** エトセトラ。えとせとら。



きょう 2026.1.3、手元に井上ひさし著「私家版 日本語文法」が届いていた。小学校時代の不勉強を取り戻そう！少し開いてみる、なんと、ゴルゴ 13 の劇画、「シュパ！とデュポンのライターで火を点ける。」。つぎに「落語ネタの擬音語ビリン、ゾクン、バラバラ、グラーツ、ガタン」とくる。これ文法の本？ うん、ひよっこりひょうたん島の言語らしい㊟。（㊟文責 四ヶ所十郎）

インド、ギリシャ、日本を巡る講談嘸！

さて、今回はここで読みきりと致します。

よか亭十老



こちら
総務部
便り



そ
う
む
ぶ
た
よ

Vol. 69

2026
陸月号

令和 8 年度（2026 年度）

～税制改正について～



謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和 8 年度（2026 年度）の税制改正を控え、新年最初の情報更新として、今知っておくべき日程と論点についてまとめてみました。

令和 7 年（2025 年）12 月 26 日に令和 8 年度**税制改正大綱**が公表されました。今後は、この大綱の内容を踏まえて税制改正関連法案（国税・地方税）が条文化され、通常国会（令和 8 年（2026 年）1 月召集）に提出される見込みです。法案は国会審議を経て 3 月頃に可決・成立（＝正式決定）となり、成立後に公布されます。

施行日は原則として令和 8 年（2026 年）4 月 1 日ですが、改正項目によっては適用開始日や経過措置が異なるため、今後公表される法案条文・附則（経過措置）で最終確認が必要です。

令和 8 年度（2026 年度）税制改正は、足元の物価高・エネルギーコスト上昇などで家計や事業の負担が増している状況を踏まえ、生活や事業活動への影響を和らげる視点が随所に見られます。

あわせて、賃上げや投資を後押しし、企業の稼ぐ力を高めることで中長期の成長につなげるという政策意図がより前面に出た改正が多い印象です。

短期的な負担の緩和と、投資・人材・生産性向上を通じた成長支援を両立させようとする構成になっており、今後は各改正の適用要件や経過措置を確認しながら、自社の投資計画や人件費施策、資金繰りにどう落とし込むかが実務上のポイントになります。

前問

謹賀新年



明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様のおかげで、私どもは無事に新年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

新年を迎え、我が社はお客様一人ひとりの大切なビジョンや目標達成をお手伝いすることを最優先に掲げてまいります。

社員一同がさらに成長し、幸せを感じながら仕事に取り組むことで、お客様の事業がますます発展し、皆様ご自身もより豊かで幸せな日々を送っていただけるよう、全力で邁進してまいります。

税務・会計の世界は日々複雑さを増し、真剣勝負の連続ですが、時には「とりあえずコーヒー飲みながら一服しよう。」なんてタバコを吸いながら、乗り切っております。（あ、私は今年こそは禁煙するんです。。。）

そんなほのぼのとした雰囲気の仕事所ですが、今年も**信頼できるパートナーとして、しっかり寄り添い、サポートいたします。**

確定申告シーズンも一緒に余裕を持って乗り切って、笑顔で「今年も無事に終わったね。」と言えるようにしようと思っています。

本年も変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

四ヶ所 直樹



免税事業者との取引に関する税制改正について



みなさま、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします！早速ですが、今回の新聞には「インボイス制度」に関連する、2026年（令和8年）からの新しいルールについてご説明いたします。

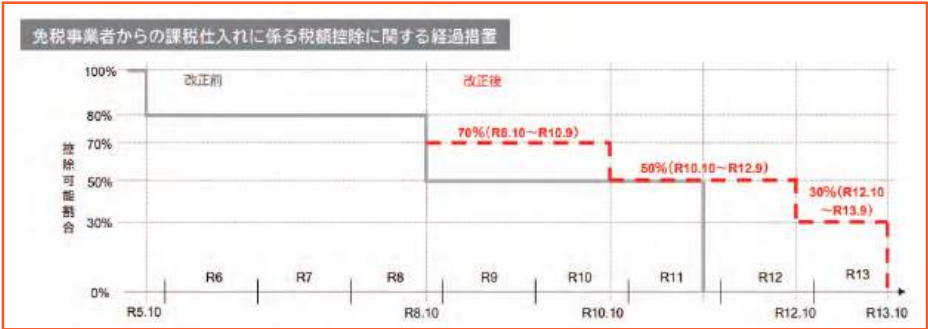
免税事業者のお店や会社から物を買ったとき、これまでは特例として、払ったお金の一部を税金の計算から引くことができました。今回の改正では、その「引ける金額」や「期間」が変わります。

1. 期間が長くなり、割合がゆっくり変わります

免税事業者から買ったときに、税金の計算から引くことができる割合（控除可能割合）が、以下の図のように段階的に減っていきます。

- ・2026年10月～2028年9月：払った消費税相当額の70%を引けます。
- ・2028年10月～2030年9月：払った消費税相当額の50%を引けます。
- ・2030年10月～2031年9月：払った消費税相当額の30%を引けます。
- ・2031年10月以降：何も引けなくなります。

もともとの予定よりも、このサポート期間が「2年」長くなりました。



2. 経過措置の適用に係る上限額が変わります。

一つの免税事業者からの課税仕入れの額の合計額が年間で1億円（改正前：10億円）を超える場合には、その超える部分の課税仕入れについて、本経過措置の適用を認めないこととします。本経過措置に係る上限額が10億円から1億円へ大きく引き下げられるため、一つの免税事業者からの課税仕入れの額の合計額の管理の必要性が増すことになります。

この改正は**2026年(令和8年)10月1日**からスタートします。まだ少し時間はありますが、今のうちから取引の相手や金額を確認しておきましょう。

フウン



新年の抱負は「やらないことリスト」

旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、新しい年を迎えるにあたり、相棒のCopilot（生成AIサービス）と一緒に「今年の抱負」を考えてみました。すると、仕事効率の雑学にたどり着き、その中でも特に心に響いたのが「やらないことリスト」より『**やらないことリスト**』が効果的 という考え方です。

仕事効率の雑学から学んだこと

- ・朝の2時間が最も集中力が高い
- ・タスクは「25分集中+5分休憩」で効率アップ（ポモドーロ法）
- ・メールは短文の方が返信率が高い
- ・デスクに植物を置くと生産性が上がる
- ・立って会議すると短時間で終わりやすい
- ・優先順位は「重要度 × 緊急度」で決めると整理しやすい
- ・書き出すだけで頭がスッキリする
- ・朝に運動すると仕事の集中力が増す
- ・「やることリスト」より「やらないことリスト」が効果的
- ・休憩中に散歩すると創造力が高まる

この中で**一番心に残ったのが「やらないことリスト」**。



なぜ「やらないことリスト」なのか

- ・時間と心に余裕が生まれる
- ToDoリストはやることを増やす仕組みですが、やらないことリストは逆に減らす仕組み。不要な行動を削ることで自由時間が増え、ストレスも減ります。
- ・本当に大切なことに集中できる
- 優先度の低いタスクに振り回されず、重要な仕事や趣味に集中できます。

- ・習慣や人間関係がシンプルになる
- 無理な付き合いや不要な残業を「やらない」と決めることで、生活が整理され気持ちが軽くなる。
- ・自分軸が見つかる
- 「やらないこと」を明確にすると、自分が本当にやりたいことや価値観が浮かび上がります。

今年の真骨頂

今年は「やらないことリスト」を抱負に掲げ、AIやCopilotの力を借りながら、効率的で心豊かな一年を過ごしていきたいと思います。こうした「やらないこと」を決めることで、自然と「やるべきこと」が見えてくるはずです。

まとめ

新年の抱負は「やること」ではなく「やらないこと」。減らすことで余裕が生まれ、余裕があるからこそ大切なことに集中できる。今年はそんなシンプルで力強い一年にしていきたいと思います。あなたなら「やらないことリスト」に何をいれますか？

辻 直英



- Fire Horse -

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

日々國区と変わる税制やデジタル化の流れに対し、若手らしいフットワークの軽さを活かして、最新の情報をいち早くキャッチし、皆様の事務負担が少しでも軽減されるようなご提案を心がけてまいります。

今年の干支は「**丙午**」。非常に力強いエネルギーを持つ年と言われています。私自身もその活気を糧にして、実務スキルの向上に励む一年にしたいと考えております。

皆様が作成される日々の帳簿や資料が、より正確でスムーズな申告につながるよう、まずは「**一番身近な事務のパートナー**」として何かお手伝いできることがあれば教えていただけますと幸いです。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

富松

～あけましておめでとうございます～



こちら総務部の年末年始の休日は、就業規則では、12月29日から明けて1月3日までの6日間なのですが、今回は曜日の関係で12月27日（土曜日）から1月4日（日曜日）までの9日間という**大型連休**でした。

皆様は、どのように過ごされたのでしょうか？

私は、年明け、毎年必ず見るのが2日、3日の**箱根駅伝**です。

2日、3日共に、朝から午後13時頃までテレビにくぎ付けで、もちろん青学の応援です。

2日の朝、第一走者が16位だった時には、さすがに今年は青学無理か？と落ち込みました。しかし、2区3区と順位を上げていき第五区の黒田朝日選手がやりました！！まさかの4人抜き、大逆転で往路優勝！！復路は、1位を守り続け3年連続9度目の優勝。いいお年玉をもらいました。

話は年末に戻り、31日にテレビで**紅白**を流しながら、おせちの準備をしていたら、なんと永ちゃんが出てきたではありませんか！（大ファンなので永ちゃんと呼ばせてください）すごいですよね。1949年9月14日生まれの76歳ですよ！2025年東京ドーム2Days、3時間のライブをこなす体力！

私も「膝が痛い」「腰が痛い」「最近は物忘れひどくなって」とか言ってられません。

2026年は「**脳の活性化**」を目指して頑張ります。

今年もよろしくお願いいたします。



【A I による概要】

脳の活性化とは、脳の血流が増え、神経ネットワークが広がり、記憶力・集中力・思考力などが向上する状態を指し、運動（早歩き、手先を使う）、新しい挑戦、良質な睡眠、人とのコミュニケーション、バランスの取れた食事で促進できます。

日常のちょっとした工夫で、認知症予防や能力向上につながります。

*** ～北原～ ***



【デジタル版だと文字の大きさも**自由自在**！】
こちら総務部便りデジタル版を配信ご希望の方は
コチラの登録フォームからどうぞ！>>>>>>

